

**政策 08 分野横断的なまちづくりと市政運営**

**施策 02 行財政運営の推進**

**あるべき姿**

施策がめざす尾張旭市の姿  
効率的で計画的な行財政運営が行われています。

**施策の成果状況と評価**

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	効率的・計画的なまちづくりが進められていると思う市職員の割合 (%) 【企画課】	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対基準値
		88.8	83.3	79.2	90	☔ (低下)
評価	前年度の実績値と比べ、現状値が4.1ポイント減少した。これは、20代の職員の回答で「どちらかといえば思う」が減少したのに比して、「どちらかといえば思わない」が増加したことが要因の一つとして考えられる。					対前年度
		☔ (低下)	目標達成度			
						(---)

指標	施策目標の達成率 (%) 【企画課】	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対基準値
		46.8	41.4	34.5	80	☔ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値(H30)が6.9ポイント減少した。これは、政策5の施策における目標値達成割合が前年度と比較して、28.6ポイント減少し、政策6の施策における目標値達成割合が前年度と比較して、25ポイント減少したことが主な要因であると思われる。					対前年度
		☔ (低下)	目標達成度			
						(---)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 効果的・効率的な行政運営

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	基本事業目標の達成率(%) 【企画課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		43.9	43.5	44.2	80	☀️ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値(H30)が0.7ポイント増加した。これは、政策4の基本事業における目標値達成割合が前年度と比較して、7.9ポイント増加し、政策8の基本事業における目標値達成割合が前年度と比較して、12ポイント増加したことが主な要因であると思われる。					☀️ (向上)
						☀️ (向上)

## 基本事業01 効果的・効率的な行政運営

指標	事務事業評価による改善を実施した割合(%) 【総務課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		64.8	79.6	80.3	80	☀️ (向上)
評価	継続した『事務改善基本方針』の実践により、職員の改善に対する意識の醸成が図られたことで、基準値と比較し、15.5ポイント、前年度と比較し0.7ポイント実績値が増加し、前期目標値(H30)を達成できた。引き続き後期目標値(R5)の達成に向け、上記方針の3つの方針を軸に職員へ働きかけを行う。					☀️ (向上)
						🏰 (達成)

## 基本事業02 健全な財政運営

指標	経常収支比率(%) 【行政経営課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		91.6	91.3	88.9	90.4	☀️ (向上)
評価	平成24年度と平成30年度の比較では2.7ポイント減少(改善)しており、平成29年度との比較でも、2.4ポイント減少(改善)し、H30目標値を達成した。平成30年度は、公債費が減少したことによる経常経費の減少や、個人市民税、法人市民税の増加等による経常一般財源等の増加により、経常収支比率が改善した。しかしながら、今後は、社会保障関係経費や据置期間の満了に伴う償還元金の増加などが見込まれることから、比率をできるだけ増加させないよう施設管理費の見直しや、事務事業の廃止・見直しによる経常経費の削減等に努めていく。					☀️ (向上)
						🏰 (達成)

## 基本事業02 健全な財政運営

指標	将来負担比率(%) 【行政経営課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		21.6	-	0.3	18	☀️ (向上)
評価	平成28年度決算では、将来負担額が充当可能財源等を下回ったため、将来負担比率は発生しなかったが、平成29年度は0.3%で将来負担比率が発生しているものの、平成24年度と平成29年度の比較では、21.3ポイント減少(改善)しており、H30目標値を達成している。平成28年度と比べ比率が増加したのは、公立陶生病院の地方債残高の増加が主な要因となっている。今後も引き続き、市債発行の適正化を図るとともに、公営企業等への負担見込みも注視し、健全な財政運営を図っていく。なお、H23決算の21.6%は全国810市区のうち187位であり、H29決算の0.3%は全国814市区のうち232位の数値である。					☀️ (向上)
						🏰 (達成)

**基本事業02 健全な財政運営**

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	市民1人あたりの借金の返済額（円）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【行政経営課】	22,082	20,338	18,709	21,500	☀️ (向上)
評価	平成29年度と平成30年度の比較では、1,629円減少（改善）しており、H30目標値を達成している。減少した主な要因は、過去の高金利及び大型事業の地方債の償還が終了したことにより、公債費が前年度より減少したためである。今後は、文化会館改修事業等の大型の市債発行により、市債残高の増加が見込まれるが、中長期的な財政計画を持って、地方債残高の適切な管理に努める。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

**基本事業02 健全な財政運営**

指標	市税収納率（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【収納課】	95	97.96	98.2	95.5	☀️ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値(H30)が0.24ポイント増加している。納税折衝や滞納処分により納税が促進されており、今後もこれらの手段を積極的に活用し、滞納市税の早期解消に努める。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

**基本事業03 市民の財政理解の推進**

指標	市の財政状況について知っている市民の割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【行政経営課】	37.4	35.1	36.5	45	☔️ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値(H30)が1.4ポイント増加しているが、前年度と横ばいの結果であると認識している。					対 前年度
						☁️ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						(---)

**基本事業03 市民の財政理解の推進**

指標	税金の使い方に満足している市民の割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【行政経営課】	64.2	71.8	68.9	65	☀️ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値(H30)が2.9ポイント減少した。本設問に対する自由意見がないため、まちづくりに関する自由意見を確認すると「税金が高い。」という意見が見られるため、単純に使い方(歳出面)のみならず、集め方(歳入面)も含めた周知を検討する必要があると考えられる。					対 前年度
						☔️ (低下)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

**基本事業04 広域行政の推進**

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	広域で共同処理している事務・広域的に受けられるサービス件数（件） 【企画課】	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対基準値 ☀️ (向上)
		47	53	59	50	☀️ (向上)
評価	前年度と比べ、実績値（H30）が11.3ポイント増加した。これは、愛知県待機児童対策協議会や瀬戸市との消防行政の連携協定などの事務が6件増加したことが要因であり、平成30年度の目標値を達成している。					対前年度 ☀️ (向上)
						☀️ (向上)

**基本事業05 情報化の推進**

指標	ICTを活用した市民サービスが充実していると思う市民の割合（%） 【情報課】	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対基準値 ☀️ (向上)
		71	74.3	72.2	75	☀️ (向上)
評価	（状況）平成29年度より2.1ポイント減少している。 （原因）ICTを活用した市民サービスの需要が高まっているのに対して、市のサービスの供給が不足していたことが要因の一つとして考えられる。					対前年度 ☔️ (低下)
						☔️ (低下)

**基本事業05 情報化の推進**

指標	主要情報システムの安定性（稼働率）（%） 【情報課】	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対基準値 ☁️ (横ばい)
		99.9	99.9	99.9	99.9	☁️ (横ばい)
評価	（状況）安定稼働しており、計画どおり成果が推移している。 （原因）システム遠隔監視により閉庁時の機器故障等にも対応ができています。					対前年度 ☁️ (横ばい)
						☁️ (横ばい)

**基本事業06 公共施設の効率的な配置**

指標	市民1人あたり公共施設面積（㎡） 【財産経営課】	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対基準値 ☀️ (向上)
		2.06	2.03	1.99	2	☀️ (向上)
評価	基準値と比較し0.07ポイント、前年度からは0.04ポイント向上し、平成30年度の目標値を0.01ポイント上回っている。これは、西大道公会堂が新設されたものの、旧市民会館撤去により、公共施設面積が大幅に減少したことで、人口の増加によるものである。					対前年度 ☀️ (向上)
						☀️ (向上)